

# I 求める学生像

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。詳細については、本学のホームページ (<http://www.kagawa-u.ac.jp/>) を参照してください。

## 教育学部

教育学部では、学校教育教員養成課程と人間発達環境課程の2つの課程を設置し、学校教員・教育者としての総合的な資質・能力及び教育実践力の育成をめざしています。

このため、教育学部では、学校教育や生涯学習に関心を持つだけでなく、様々な課題にチャレンジする積極性を持ち、経験の積み重ねを通して将来へのビジョンを構築できる、意欲あふれる学生を期待します。こうした意欲に伴う学力も重要であり、高等学校における各教科の学習の基礎が達成されていることを必要とします。

### 【学校教育教員養成課程】

子どもの成長・発達過程を総合的にとらえ、彼らの「生きる力」を育成し、生き生きとした学校教育を実現するため、実践的な指導力を持つ教員を養成します。

学校教育教員養成課程を志望する学生には、特に、子どもが好きであることを基に、子どもの理解と教育に携わる意欲が求められます。

### 【人間発達環境課程】

人間の生涯にわたる発達と人間を取り巻く環境に関する様々な問題を総合的に探求し、国際化、情報化、少子・高齢化の進む生涯学習社会を支えることのできる人材を養成します。

人間発達環境課程を志望する学生には、人間とは何かを考え、人間を取り巻く環境や生涯学習、あるいは世界の言語・文化・社会に関心を持ち、これらに関連した分野で社会に貢献する意欲のある共感性豊かな学生を期待します。

## 法学部

法学部は、法律学と政策科学の専門的な素養を身につけながら、①社会がかかえる問題を発見する観察力、鋭い分析力、解決案を導く柔軟な思考力、②社会のさまざまな利害関係の調整、紛争の解決、政策の立案を適切に行うための知識と技術、③自らのアイデアを的確に表現し、公正な議論を通して、社会の発展に積極的に貢献できる発信力などを養うことを目標にしています。

こうした力を養成する前提として、法学部に入学を希望する学生には、「現代社会への関心」「論理的思考力」「コミュニケーション能力」という三つの資質を求めています。

- (1) 「現代社会への関心」 現代社会の動きに常にアンテナを張っている人／読書や新聞を通して問題意識を深め、自分の意見を持っている人
- (2) 「論理的思考力」 物事をさまざまな角度からとらえることのできる人／筋道を立てて考えることのできる人
- (3) 「コミュニケーション能力」 自分の意見を持ち、文章や議論の中で積極的にかつ説得力を持って表現できる人／相手の意見からも学べる人／議論をリードし発展させることのできる人

## 経済学部

本学部では、経済や社会に関するさまざまな現象に関心を持つだけでなく、解決を必要としている問題を発見し、自ら解決できるような知識と技能を修得したいと考えている学生を求めています。具体的には、論理的思考方法、情報の収集及びコンピューターを用いた処理技術、プレゼンテーション技術、コミュニケーション方法などを修得した上で、経済や社会の仕組みに関する専門的知識、企業の経営や戦略に関する専門的知識、会計や税務に関する専門的知識、世界各地の言語、社会、文化、歴史に関する幅広い知識などを修得したいと考えている人、そして以下のような職業に就きたいと考えている人を求めています。

- (1) 官公庁において国や地域の運営や活性化などに従事したい人
- (2) 企業における経営や戦略の企画・実践に従事したい人
- (3) 海外での仕事や国際取引に従事したい人

入学を希望する人は、高等学校において、英語、数学、国語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。英語・数学・国語の基礎学力は、次のような理由から必要になります。英語の基礎学力は、大学において、国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は、数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。

## 医学部

### 【医学科】

地域医療や国際医療に貢献できる医師や国際的に活躍できる優れた研究者となるには、生涯にわたり絶え間ない努力と向上心が必要であり、医学・医療に一生を捧げる確固たる使命感と責任感を持っていることが必須です。さらに、医学的な専門知識と技術を習得できる学力、能力が必要です。医学科の講義・実習は、量的に多く、内容も高いレベルで行われていますので、それを習得するのに十分な基礎学力と科学的・論理的思考力を備え、そして何より医学への興味、学習意欲があることが重要です。

一方、学力は優秀でも、道徳・倫理観の乏しい人や人格的に問題がある人は、医師となる適性が欠けているといえるでしょう。貴い人命を預かる医師はもちろんのこと、研究を専門とする研究者にも高い倫理観が求められています。さらに患者さんとの信頼関係の基礎となるコミュニケーション能力、他の医療スタッフや研究者との良好な対人関係を築ける協調性も非常に大切です。これらは医学を学んでいく過程で身につけていくことも可能ですが、年齢に応じた資質としてすでにある程度備わっていることが望まれます。いわゆる知情意の総合力において優れている人が理想的といえるでしょう。

入学を希望する人は、高等学校において、理科、数学、英語、国語を中心とした基礎学力を十分に身につけておいてください。理系科目は、科学的思考、論理性を必要とする医学科専門科目を学ぶために必要となります。英語は、国際的なコミュニケーション能力を養うためだけでなく、英語で書かれたテキストや科学論文の読解にも必要です。国語の基礎学力は、学んだことを論理的な文章にまとめたり、発表したりするために必要です。

### 【看護学科】

看護学は看護のための理論や看護の実際を研究する学問であり、他学問の知識を多く必要とします。したがって看護学に必要な専門的知識と技術を習得できる学力、能力が必要です。看護は人を対象とする学問ですから命を大切に、人として守るべき行動がとれる高い倫理観が必要です。看護職が専門職であるためには自らを律し、自ら学び、考え、専門的知識と技術を高めるといった自律性と自己発展性が求められます。また、人との関係性の中で看護が行われるので、人の話をよく聞き、信頼関係を作るためにコミュニケーション能力が大切です。さらに、高齢者や病人を対象にすることが多いので、思いやりがあり、相手の立場になって考えることができ、人と誠実に向き合えることが求められます。

入学を希望する人は、国語、数学、理科、社会、英語の基礎学力を十分に身につけておいてください。人間の体の仕組みを理解し、看護上の判断を行い、看護の技術を身につけるには理科や数学の論理的、科学的な思考が求められます。また、看護に関する文章を論理的に読み取り、効果的に記述するには国語力が必要です。英語の本や論文を読み、諸外国の看護活動を学び、国際交流を行うために英語力が必要です。

## 工学部

工学部では、次のような学生を求めています。

- (1) 既存の工学分野の枠を超えて、人に優しく自然との共生を視野に入れ、自主的に勉学する意欲を有する学生
- (2) 自らの専門知識を背景に、企画、運営へ積極的に参加する学生
- (3) 工学分野を通じて国際社会への貢献を志向する学生

(4) 社会の倫理観及び多様な価値観を受け入れ、新しい技術の創造により豊かな人間社会を築くことに熱意を有する学生

入学を希望する学生は、高等学校において、数学、理科、国語、英語を中心に基礎学力を身につけておいてください。工学部では、数値解析や情報処理などを行うソフトウェア、ビルやロボット・コンピュータなどのハードウェア、そしてそれらを支える新しい材料・物質などの設計・開発を行えるような専門知識を学びます。これらは、数学・理科の知識の上に成り立っています。なお、数学Ⅲ、数学Cの知識も極めて重要ですので、学ぶようにしてください。学科によって必要な理科の科目は多少異なっていますので、希望する学科に合わせて、物理、化学、生物、地学等から必要科目を身につけておいてください。

理系だからと言って国語や英語、社会は学ばなくてよいということはありません。技術調査や報告書作成・製品紹介などを行うには文章の読解と作成の能力が必要ですし、特にチームで仕事をこなすには意思疎通の能力が要ります。現代の国際化社会においては国際コミュニケーション能力も求められています。大学の講義にてこのような能力を本格的に養うためには、高等学校でこれらの科目の基礎学力も身につけておく必要があります。

また、勉学だけでなく、生徒会活動やクラブ活動に主体的に取り組む、学園祭の運営に積極的に参加する、ボランティア活動に参加して様々な価値観をもつ人と触れ合う、夏休みを利用してホームステイを体験するといったような様々な経験を通して、幅広い視野と主体性・積極性を身につけた意欲ある学生を求めています。

## 農 学 部

食料と健康、環境は、現代の農学が担う重要な課題です。そのような視点から農学部では、生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち、様々な課題を積極的・主体的に探求し、解決したいと考えている学生を求めています。応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を修得し、生物関連産業の場で活躍したいと希望する学生諸君の入学を期待しています。

### 【応用生物科学科】

農学部は1学科制を採用しています。入学後まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し、生物科学の基礎を身につけます。また、この間に、自らの学習の方向性と適性を把握し、2年後期からは以下の4つのコースに分かれ専門科目を履修し、学修を体系的に完成させます。

#### 1) 応用生命科学コース：

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により、生命現象や生物が作る物質の特性や機能を分子レベルで解明して利用することが可能になってきました。本コースでは微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子・遺伝子レベルで明らかにする生命科学の基礎から、その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てる応用技術まで幅広く学びます。

#### 2) 生物生産科学コース：

21世紀の豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして、遺伝子資源の評価と品種改良、生産技術や生産物の流通システムなどを、フィールドからバイオまで体系的かつ実践的に学びます。

#### 3) 生物資源環境化学コース：

生物資源や生物機能を化学的に解明することにより生物資源を有効かつ高度利用し、さらに生物資源の生産の場となる環境について化学的手法を用いて物質レベルで理解することを目標とします。特に、生物活性・生体機能物質の探索及びその生成と作用機構の解明について学ぶとともに、環境中の生物資源にまつわる物質の循環について学びます。

#### 4) 食品科学コース：

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を化学的側面から理解し、高い嗜好性や機能性を維持した様々な食品の技術開発などを習得し、食品機能、安全性、嗜好性について体系的かつ実践的に学びます。